

学校人権教育指導資料集

第32集

～今、光っていたい～



協力：陸前高田市立広田中学校

[ここをクリック
目次へ](#)

千葉県教育庁教育振興部指導課

学校人権教育指導資料 第32集 CD-ROM 収録内容一覧

【1】指導資料集第32集 冊子

○表紙

○はじめに

1 人権教育の推進のために

- (1) 人権教育を進める基盤
- (2) 学校における人権教育とは
- (3) 学校としての組織的な取組
- (4) 人権教育尊重の視点からの学校づくりと学力向上

2 さまざまな人権課題

(1) 外国人の人権

協力 八千代市立村上北小学校
 県立市川工業高等学校
 千葉県高等学校教育研究会人権
 同和教育部会

(2) ハンセン病元患者の人権

協力 国立ハンセン病資料館学芸課長
 黒尾和久氏

3 特集一ひと一 石川倉次～日本点字の父～

4 千葉県学校人権教育研究協議会の活動

- (1) 学校人権教育推進に係る実態意識調査について（概要報告）
- (2) 推進校協議会所属の学校の取組
 野田市立川間小学校の取組
 野田市立北部中学校の取組
- (3) 平成23年度研究協議会にて行われた講演等の紹介

◎高等学校協議会（平成23年5月23日開催）から

◎推進校協議会（平成23年10月18日・平成24年1月13日開催）から

○奥付

○裏表紙

【2】県及び県教育委員会の資料

◇『学校生活と子どもの人権』（平成10年）

◇いきいき明日香ちゃん～人権ってなあに』（平成13年）

◇学校人権教育指導資料第25集
 ～参加体験型学習をとりいれましょう
 ～具体的な人権課題について考える

◇学校人権教育指導資料第26集
 ～人権教育Q&A

◇学校人権教育指導資料第27集
 ～個別課題への対応

◇学校人権教育指導資料第28集
 ～学校人権教育推進校の実践紹介（27事例）

◇Human Rights
 ～心のバリアフリーの実現を目指して

◇学校人権教育指導資料第29集
 ～学校人権教育推進校の実践紹介（21事例）

◇学校人権教育指導資料第30集
 ～学校人権教育推進校の実践紹介（小学校9事例・中学校9事例）

【3】職員研修のための資料

◇子どもたちが「自分は大切にされている」と感じることが
 ができる教育環境、教育活動等

◇「あなたはどう思いますか？」～ワークシート付

◇日常生活で気をつけたい教師の言動
 ～ワークシート付

◇公正な採用選考に向けて
 ～事前学習・事後学習参考資料

◇校内環境～人権コーナー・掲示物の工夫

◇参考資料検索
 ～「人権教育の指導方法等の在り方について」HP
 ～「外国人児童生徒への対応」情報提供HP
 ～「人権啓発ビデオ等」貸出機関HP

【4】子どもたちの活用資料

◇「あっていいちがい」と「あってはならないちがい」

◇「人権って何？」～欲しいもの・必要なもの・人権

はじめに

未曾有の大災害となった東日本大震災では、日本人の冷静な行動が世界から賞賛されました。その背景には様々な要因を挙げられますが、その一つに、人々のつながり、かかわりの強さを感じることがあります。

本県で行われたある社会調査では、日ごろ、街中で出会ってあいさつを交わす人を多く持っている人ほど、規範意識が強く、また他者に対する寛容、思いやりの心に富むことが明らかにされています。さまざまな人々との「つながり」や「かかわり」が私たちの社会にとっていかに大切なものであるかを、いまこそ見つけ直さなくてはならないのではないのでしょうか。

県教育委員会では、平成22年度に策定した教育振興基本計画で、「『ふれる』、『かかわる』、そして『つながる』」を基本的な取組方針として掲げ、具体的施策の重要な柱として、「自他ともに尊重し命を大切にす心の教育の推進」を位置づけたところであり、その冒頭には「人権を尊重し、あらゆる不合理な差別を許さない教育の推進」を明記するとともに、人権に関する教職員研修の在り方や保護者への啓発方法等について検討すること等を提示しているところです。

昭和56年の第1集発行以来、「充実した指導資料の作成」を目指して号を重ねてきた本資料集が、児童生徒の人権感覚の向上及び教職員の研修充実等に活用されることを期待します。

最後になりましたが本資料集の作成に御尽力いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。

千葉県教育庁教育振興部指導課長 吉開 潔

目次（冊子）

はじめに

1	人権教育の推進のために	1
(1)	人権教育を進める基盤	1
(2)	学校における人権教育とは	2
(3)	学校としての組織的な取組	3
(4)	人権教育尊重の視点からの学校づくりと学力向上	4
2	さまざまな人権課題－千葉県人権施策基本指針－	7
(1)	外国人の人権	8
	協力 八千代市立村上北小学校 県立市川工業高等学校 千葉県高等学校教育研究会人権・同和教育部会	
(2)	ハンセン病元患者の人権	15
	協力 国立ハンセン病資料館学芸課長 黒尾和久氏	
3	特集－ひと－石川倉次～日本点字の父～	23
	協力 元本県小学校教諭 永嶋まつ子氏 県立千葉盲学校	
4	千葉県学校人権教育研究協議会の活動	
(1)	学校人権教育推進に係る実態・意識調査について（概要報告）	24
(2)	推進校協議会所属の学校の取組	
ア	野田市立川間小学校の取組	29
イ	野田市立北部中学校の取組	30
(3)	平成23年度研究協議会にて行われた講演等の紹介	
◎	高等学校協議会（平成23年5月23日開催）から	
	緊急提言「東日本大震災からの復興に向けて」玉川大学教職大学院教授 小松郁夫氏	31
①	全体会「格差と貧困に立ち向かう教育～人権の視点で問直す～」大阪教育大学理事 成山治彦氏	33
②	分科会「いじめ等人権侵害で問われる学校の責務」上越教育大学教授 梅野正信氏	35
③	分科会「クラスをつくる～君は担任としてどうかかわるか～」大阪府立柴島高等学校教諭 内田清彦氏	36
	協力 柴島高等学校三年 T・Sさん	37
④	分科会「被虐待児への支援～教育と福祉の連携の在り方～」県立柏井高等学校教諭 福田修一氏 県児童家庭課主査 宮木裕一氏	38
	協力 千葉県児童福祉施設協議会	
◎	推進校協議会（平成23年10月18日・平成24年1月13日開催）から	
①	「弥栄のきずな～京都・中学生が取り組む人権劇～」京都市総合教育センター研究員 川島浩明氏	42
②	「生存者と呼ばれる子どもたち－児童虐待を生き抜いて－児童精神科医から学校への提言」 医療法人横浜カメリアホスピタル病院長 宮田雄吾氏	44

編集後記

1 人権教育の推進のために

(1) 人権教育を進める基盤 — 人権教育の水準を高めるために —



「人権教育のための世界プログラム」を知っていますか？

豊かな人権文化を世界中に築くことを目的として、国連の呼びかけで取り組まれている、地球規模の行動計画です。「人権教育のための国連10年」（1995年～2004年）の成果を見直し、更なる人権教育強化のため、2005年3月2日に国連で採択されました。

「人権教育のための世界プログラム」では、次の具体的目的を達成することを目指しています。

- 初等・中等学校制度における人権の包含および実践の促進。
- 学校制度における包括的、効果的かつ持続可能な国家的人権教育戦略の策定、採択、実施、現行の取組の見直しや改善の支援。
- 学校制度における人権教育の指針の提示。
- 国際社会、国際地域、国、および地方の機関による加盟国への支援の促進。
- 地方、国、国際地域および国際社会の諸機関間のネットワーク化。

初等・中等学校制度における人権教育とは、以下を含むものでなくてはならないと「人権教育のための世界プログラム」で述べられています。

- 政策 ⇨ ⇨ ⇨ ⇨ 教育に関わる首尾一貫した政策、法律および戦略を参加型の方法で策定および採択すること。これらは人権を基盤とし、かつ、カリキュラムの改善および教職員の養成・研修政策を含むものでなければならない。
- 政策の実施 ⇨ 適切な組織体制上の措置をとり、かつすべての利害関係者の関与を促進することによって教育政策の実施を計画すること。
- 学習環境 ⇨ ⇨ 学校環境そのものを、人権教育および基本的自由を尊重・促進するようなものとする。そこでは、児童生徒、教職員、および学校管理者ならびに保護者が、現実の例および諸活動を通じて人権を実践する機会を提供される。また、子どもが自分たちの意見を自由に表明し、かつ学校生活に参加できるようにする。
- 教授・学習 ⇨ 教授・学習のすべてのプロセスおよび手段が権利に根ざしたものであること。
- 教職員の教育および職能開発
 - ⇨ 教職員および学校管理者に対し、着任前の研修および現職者研修を通じて、学校における人権の学習・実践を促進するために必要な知識、理解、スキルおよび能力を備えるようにするとともに、適切な労働条件および地位を保障すること。

詳しくは<http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/jinken/kyoiku/index.html> をご覧ください。

(2) 学校における人権教育とは



人権教育に取り組むにあたっては、人権に関わる概念や人権教育が目指すものについて明確にし、教職員がこれを十分に理解した上で、組織的・計画的に取組を進めることが大切です。

ア 人権教育の目標

一人一人の児童生徒がその発達段階に応じ、人権の意義・内容や重要性について理解し、『自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること』ができるようになり、それが様々な場面や状況下での具体的な態度や行動に現れるようにするとともに、人権が尊重される社会づくりに向けた行動につながるようにすることを目指します。そのためには、人権感覚を育成していくことが求められます。



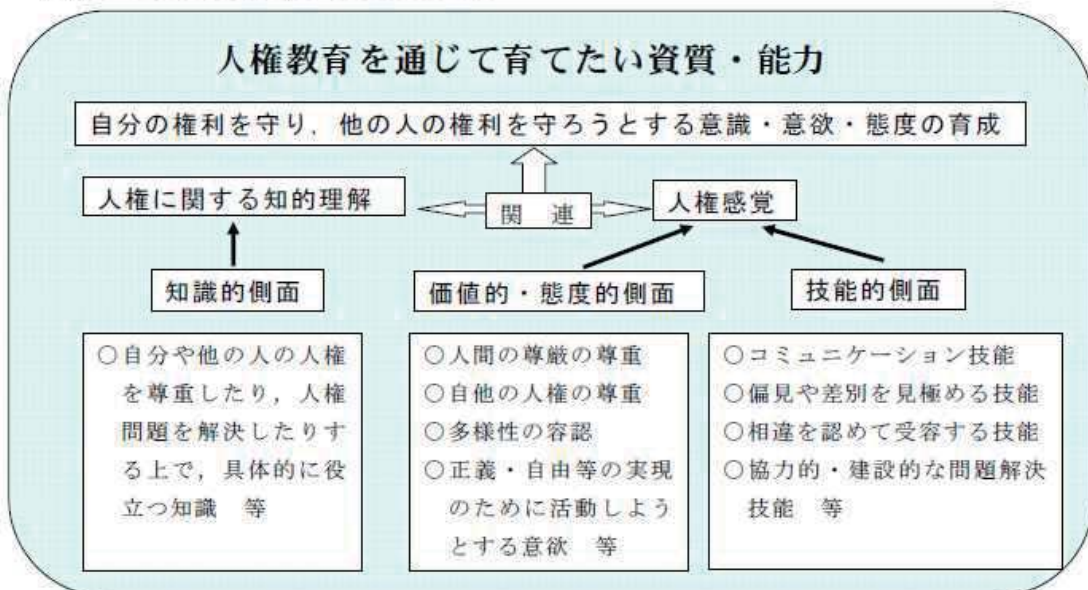
《人権感覚》

人権感覚とは、人権が守られている状態を感知し、これを望ましい状態と感じ、反対に、これが侵害されている状態を感知したときには、それを許せないと感じる感覚です。

この人権感覚の育成は、人権教育の目標である人権尊重の理念を態度や行動に表すための原動力となります。

イ 人権教育の目標達成のために

人権教育の目標を達成するためには、人権感覚の育成とともに、人権や人権を擁護するための方法等の基本的な知識について理解させることも大切なはたらきかけです。そして、人権が守られるように実践しようとする意識（人権意識）や意欲・態度を向上させ、実践行動に結びつけることが求められています。



『人権教育の指導方法等の在り方について』より

※ 『人権教育の指導方法等の在り方について』

「人権教育・啓発に関する基本計画」（平成14年閣議決定）で指摘された、学校教育における人権教育の現状について、文部科学省は平成15年から「人権教育の指導方法等に関する調査研究会議」を開催し、知的理解を深めるとともに人権感覚を十分に身に付けることを目指して、人権教育の指導方法等の在り方を中心に検討を行ってきました。

この検討結果は、〔第一次とりまとめ〕（平成16年）、〔第二次とりまとめ〕（平成18年）、〔第三次とりまとめ〕（平成20年）として公表され、すでに全国の学校等に配布されていますので御活用ください。

(3) 学校としての組織的な取組



学校においては、各教科等の指導、生徒指導、学級経営など、教育活動全体を通して、人権教育を推進していくことが大切です。そのためには、教職員が一体となって、人権教育に取り組む体制を整え、目標設定、指導計画の作成等の取組を組織的・継続的・計画的に行うことが大切です。

目標設定

学校、児童生徒、地域の実態・実情等を考慮し、自校の具体的な目標を設定することが大切です。具体的には、各学校において、教育活動全体を通じて、自尊感情を培うとともに、次のような力や技能などを総合的にバランスよく育成していくことが大切です。



Topicku 「人権教育・啓発に関する基本計画」の一部変更（平成23年4月1日閣議決定）

さまざまな人権課題

- ①女性 ②子ども ③高齢者 ④障害者 ⑤同和問題 ⑥アイヌの人々 ⑦外国人
⑧HIV感染者・ハンセン病患者等 ⑨刑を終えて出所した人 ⑩犯罪被害者等
⑪インターネットによる人権侵害 ⑫北朝鮮当局による拉致問題等（新たに追加された項目）⑬その他

拉致問題の解決には、幅広い国民各層及び国際社会の理解と支持が不可欠であり、その関心と認識を深めることが求められている。

学校教育においては、児童生徒の発達段階等に応じて、拉致問題等に対する理解を深めるための取組を推進する。（文部科学省）



- ★ 毎年12月10日から16日が「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」と定められました。
- ★ 内閣府ではアニメ「めぐみ」及び映画「めぐみ」を作成し、啓発の促進を図っています（各学校における活用をお願いします）。